

国際会計論 Exercise

Chapter 13: 退職後給付の会計

* 解答はすべて解答用紙に記述してください。

問1 退職後給付の意味と退職後給付会計の意義について、200文字程度で説明しなさい。

問2 下記の【資料】に基づいて、X2年度末における正味確定給付負債の金額を計算しなさい。

【資料】

1. X1年度末確定給付債務：3,000千円
2. X1年度末制度資産：1,500千円
3. 当期勤務費用：200千円
4. 優良社債の市場利回り：3%
5. その他の条件は無視する。

問3 以下のCase1およびCase2について、各勤続期間に帰属させる給付の金額を示しなさい。

Case1 X社では、従業員が10年超20年以下の勤務の後に退職する場合には、800千円の給付を支給し、20年超の勤務の後に退職する場合には、さらに900千円の給付（合計17,000千円）を支給する（最長30年以下）。

Case2 Y社では、従業員が10年超20年以下の勤務の後に退職する場合には、500千円の給付を支給し、20年超の勤務の後に退職する場合には、さらに1,200千円の（著しく高い）給付（合計17,000千円）を支給する（最長30年以下）。

問4 X社では、確定給付制度を採用しているが、給付に関する外部積み立てを行っていない。下記の【資料1】～【資料3】に基づいて、年齢の異なるAおよびB2人の当期末における正味確定給付負債（年金資産がないので、確定給付債務に一致）と当期勤務費用を、(1)給付算定式基準と(2)定額基準によって計算しなさい。

【資料1】

AおよびBの条件は、以下のとおりである。

	A	B

入社年齢	22歳	22歳
現在年齢	37歳	42歳
現在の勤続年数	15年	20年
退職年齢（定年） ^{*1)}	60歳	60歳
退職時の給与（予想）	500,000円	500,000円
退職時までの勤続年数	38年	38年
退職時までの（残り）勤務年数	23年	18年

*1) 2人は定年を迎えるまで退職しない。

【資料2】

勤続期間と支給倍率は、以下の表（抜粋）のとおりである。

勤続期間(年)	1	～	14	15	16	17	18	19	20	21	～	35	～	38
支給倍率	1	～	10	11	12	13	14	15	16	17	～	32	～	32

【資料3】

優良社債の市場利回りは3%とする。割引係数（抜粋）は、以下のとおり計算される。

年数(年)	1	～	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
割引係数 ¹⁾	1.03	～	1.51	1.56	1.60	1.65	1.70	1.75	1.81	1.86	1.92	1.97	2.03

*1) $(1 + \text{割引率})^{\text{年数}}$

国際会計論 Exercise 解答用紙

Chapter 13	ID Number	Name	Grade
退職後給付の会計			

問 1

--

問 2

正味確定給付負債

計算式	金額 (単位：千円)

問 3

帰属させる給付の金額 (単位：千円)

	1年超10年以下	10年超20年以下	20年超30年以下	30年超
Case 1	各年 0	各年 800	各年 900	0
Case 2	各年 0	各年 850	各年 850	0

問 4

(1) 給付算定式基準

正味確定給付負債 (単位：円)

	計算式	金額
A		
B		

当期勤務費用（単位：円）

	計算式	金額
A		
B		

(2) 定額基準

正味確定給付負債（単位：円）

	計算式	金額
A		
B		

当期勤務費用（単位：円）

	計算式	金額
A		

B		
---	--	--